

名前 _____ 年組 _____

県内年賀状10年で7割減

県内で元日に配達される年賀状の数が減少している。日本郵便東北支社（仙台市）によると、今年配達されたのは320万通で2015年の1251万通から約7割減った。24年と比較した減少率も36・4%となり、15年からの10年間で最大だった。昨年の郵便料金引き上げなどを受け、経費削減を目的とした「年賀状じまい」に踏み切る企業や市民が増えたことが一因とみられる。



県内で元日に配達された年賀状の15年以降の推移をみると、19年までは1千万通台だったが、20年に899万通となった。その後は22年707万通、24年503万通と右肩下がりの状態が続いている。

秋田中央郵便局の担当者は、交流サイト（SNS）の普及やペーパーレス化の浸透なども年賀状の配達数が下げ止まらない要因とみる。

秋田中央郵便局の担当者は「年賀状や手紙はメールと違い、ぬくもりが感じられるものだと思う。年賀状を送り合うのは日本独自の文化。次世代に継承できるように、素晴らしさを幅広く訴えていきたい」と話した。

※【右肩下がり】後になるほど数値が低くなること。
 ※【下げ止まらない】数値などの下降が止まらないこと。

秋田魁新報2025年1月6日付より。記事は手直ししています。

① 「右肩下がりの状態」とは、この記事ではどのような状態のことでしょうか。グラフを見て、下の に言葉を入れて説明しましょう。

ほど

が

状態のことをいう。

② 「下げ止まらない」を国語辞典で引くときには、 どのような見出し語で調べたらよいでしょうか。

③ 県内で元日に配達される年賀状の数が減少している要因として、二つのことが挙げられています。誰がどのような要因を挙げているのか線で結びましょう。

秋田中央郵便局の担当者・
記者・

- ・ 経費削減を目的とした「年賀状じまい」に踏み切る企業や市民が増えたこと
- ・ 周囲でも年賀状を送らない企業が増えてきたこと
- ・ 交流サイト(SNS)の普及やペーパーレス化の浸透

④ 記事では、最後に秋田中央郵便局の担当者の話を載せています。記事の見出しと記事のしめくりから、記者が伝えたいことを選んで()に○を書きましょう。

- () 県内で元日に配達される年賀状の数は、コロナ禍以降急激に減少した。さまざまな理由が考えられるが、年賀状のよさや日本の文化としての価値が失われてしまうから、必ず書くべきだ。
- () 県内の販売数が10年で7割減となったのは、はがきの値上げが一因である。
- () 県内で元日に配達される年賀状の数は、年々減少している。さまざまな理由が考えられるが、年賀状のよさや日本の文化としての価値にも目を向けて考えていきたい。